

札幌芸術の森美術館 ダニモニュメントの補修計画（案）

1. 目標

色褪せの原因が、表層セメントの剥離と使用骨材の影響である。
当時の白色を取り戻すのは、表面の塗装等を行うしかない。
塗装を行うと、定期的な補修（定期維持管理）が必要となる。
したがって、白色に戻すことは行わないで、カビの除去でできる範囲で回復する。
まず、試験的によごれ（カビ）対策を講じる。

2. 対象

現地のモックアップ用のブロックで対策案の組み合わせを行う。
一部のカビとみなされる個所については、協議の上、施工を検討する。

3. 補修対策（案）

- ・ 殺菌除カビ洗剤(モルドバスターA)のカビの分解効果の確認
- ・ 殺菌剤とケイ酸リチウム系表面含浸材(プロコンガード)の組合せで効果の確認。
- ・ ケイ酸リチウム系表面含浸材の表面固化性能と防汚性能の確認。

対策1 高圧洗浄のみ

対策2 高圧洗浄 ⇒ 殺菌除カビ洗剤処理

対策3 高圧洗浄 ⇒ 殺菌除カビ洗剤処理 ⇒ ケイ酸リチウム系表面含浸剤
(別紙要領参照)

対策4 殺菌除カビ洗剤処理

4. 今後の予定

2019年11月12日 試験施工

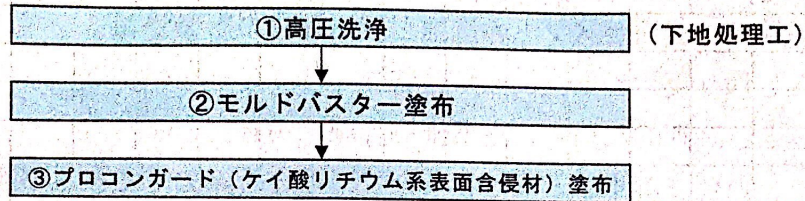
2020年5月頃 結果確認

以上

殺菌除カビ洗浄

(1) 施工フロー

施工フローを以下に示します。



(2) 施工方法

①下地処理(高圧洗浄)

コンクリート面に付着した塵埃・汚れ等を高圧水洗浄機にて洗い流します。
洗浄時はコンクリート表面に溜まった土・埃等を取り除くようにしっかりと洗浄します。
水圧 = 1.5MPa程度

②「モルドバスターA(殺菌除カビ洗浄剤)」塗布

高圧洗浄後、表面が湿潤状態の内にモルドバスターAを噴霧器で壁面全体にむらなく塗布します。

【使用材料】 モルドバスターA
塗布量 = 0.2ℓ/m²

※洗浄剤は浸透圧で浸みこみ、深在性真菌も分解します。

③洗浄

②作業終了30分後、壁面を洗浄機でよく洗い流します。
水圧 = 2.5MPa程度

※一回でカビが落ち切らない場合は、落ちていない部分に繰り返しこの作業を行います。

③ケイ酸塩系表面含浸材塗布

コンクリート表面が乾燥後(表面水分率8%以下)、ローラーまたは刷毛を用いて、ケイ酸塩系表面含浸材を塗布します。塗り残しのないよう、規定量を均一に塗布します。

【使用材料】

ケイ酸塩系表面含浸材 プロコンガード
配合比 プロコンガード : 水 = 1 : 1
標準使用量(有効成分) = 0.1kg/m²